

眼光

念願のお年玉を
孫に手渡し
旅立った父

病床で じっと耐え
車椅子に乗っては
足を動かして歩いていた
いつまでも生きたいと
望みを決して
失うことなく
眼に光を放ち
透き通っていた
最後の日まで

きつと逝く気はなかっただろう
ただ 眠るように
呼吸 波打ち
静かな時
刻む

言うことはもうない
生き様こそ
父のことば

こころ細い
今

包みこんでくれている

あけみ